

マゴソ通信



マゴソスクールを支える会を発足させる際、金銭的な面でのサポートとして、一体いくら集めれば良いのかという議論の中で、早川千晶さんより「子ども一人当たり1000円/月。月80万円」という目標を掲げてもらいました。この度2016年の会計報告を事務局から見せて頂いた際、さすがに目標には及びませんでした。約70%を達成していることに驚きと感謝の念で心が熱くなりました。本当に皆さま、ありがとうございました。ただ、緊急募金の比率が高く、年会費で賄うという目標達成には更に多くの方々のご支援が必要ですので、一人でも多くの方にマゴソスクールのサポーターになって頂けるよう、特にこの春のマゴソファミリー来日ツアーに多くの方が参加し、マゴソスクールを知って頂けるよう、ご協力よろしくお願いします。

ケニアではキベラスラムの強制撤去が行われたり、スタッフがトラブルに巻き込まれたり、極めつけは来日を控えたオギラ先生が交通事故・下腿骨折と相変わらず次々と試練がやってきますが、その一方で、前号でお知らせした様に音楽コンクールで優秀な成績を修め、またマゴソスクールから多くの子どもたちも優秀な成績でセカンダリースクールへ進学し、OBOGも次のステップにどんどん進んで行ってくれています。また日本に留学中のマゴソOG2名は一人が昨年より、もう一人もこの春から晴れて日本の大学生として学び始めています。日本では小学校や中高の子どもたちがマゴソスクールのために募金活動を行ってくれたり、大学生が支援グッズを集めてくれたり、学生の手で講演会を企画してくれたり、企業・団体・個人が様々な方法で支援を申し出て下さるなど、支援の裾野が広がっているのを実感します。

団体の性格上どうしてもお金の話を中心になってしまっていて、読む皆さんも（書く私も）心苦しいでしょうが、私は、絶望の淵にいる子どもたちが学び、歌い、遊び、仲間と過ごす中で笑顔が戻り、希望を見出して力強く生き抜いていく様子を伝え、共に幸せを分かち合う、それが「ファースト」の会だと思っています。共に、よろしくお願いします。

マゴソスクールを支える会会長 大城研司

会の運営に関して

マゴソスクールを支える会は、現在2名の運営委員が運営費を拠出し、それを使ってパンフレット、会報の作成、郵送、会員バッジの作成等をおこなっており、皆様から頂戴した会費や寄付金は全額マゴソスクールのために使わせていただいております。

会報の郵送のために、未使用切手やはがきを会の事務局に送って頂くなど、ご協力いただければありがたく思います。

支援物資、有難うございます。



マゴソスクールを支える会

事務局 〒511-0044 三重県桑名市大字萱町54-1

Mail: info@magoso.jp HP: http://magoso.jp/

Facebook: https://www.facebook.com/magososupportersclub/

パンフレットの訂正

振込先で、「郵便貯金口座御お持ちの方は『郵便局自動払込みサービス』をご利用いただけます。」となっておりますが、『郵便局自動送金サービス』の間違いでした。

マゴソ OBOG クラブと MORO 教育基金

マゴソ OBOG クラブとは

マゴソスクールは 2007 年にはじめて卒業生 7 名が出て、マゴソ OBOG クラブという卒業生クラブが生まれました。

マゴソスクールの規模が大きくなるにつれ、マゴソ OBOG クラブのメンバーは、2007 年の卒業生 (Generation1 (ジェネレーション・ワン=G1) と呼びます。) から 2015 年の卒業生 Generation9 (G9) まで毎年増え、2016 年の卒業生 60 名 (マゴソスクール 52 名・ジュンバラワトト 8 名) が Generation10 (G10) として加わりました。

マゴソ OBOG クラブの主な指導役は、早川さん、ダン先生、オギラ先生、リリアンさんです。このチームが主体となり、マゴソ卒業生で G1 のオドンゴがコーディネーターを務めます。

毎学期末に、マゴソ OBOG クラブミーティングを行い、彼らを啓発したり、家庭訪問や人生相談をしたり、保護者の相談にも乗るなど、様々な形で彼らのサポートを行っています。クラブ活動で彼らの結束を強め、お互いに刺激を受け合い、切磋琢磨して、一生涯を通じて仲間としてつながっていけるように、そして、自分の後ろに続いている子どもたちや後輩たちの指導役になっていけるように、注意深くモニターして、継続的な指導をしています。

MORO 教育基金

卒業生は、8 年生の 11 月に全国統一試験 (KCPE) を受験して、その成績が 500 点満点中 250 点以上だとセカンダリースクールに進学できる (現実的には、もっと高得点を取っていないと、良い学校には進学できません。) のですが、たとえ成績が良かったとしても、高い学費に加え、ほとんどが地方の寄宿舎学校であるため、寄宿舎に持参しなければならない様々な物品の購入や、制服、教材、体操服、交通費など、多額費用がかかり、貧困家庭の保護者には大変厳しく高い壁になっています。

ケニアの教育制度は 8 4 4 (エイト・フォー・フォー) と言い、Primary School 8 年間、Secondary School 4 年間、University 4 年間と、Generation が高校に入学したとき、Primary School の前に幼稚園が 3 年間。



2007 年の卒業生 7 名を何とか高校進学させたいという早川さんの思いに、愛知県の両角さんご夫妻が応え、MORO 教育基金が立ち上がり、青少年の育成の活動に特に興味がある方や団体がメンバーとなって奨学金を提供するようになりました。

国からの奨学金を得る生徒もいますが、G1 から G10 までの OBOG のうち 84 名が MORO 教育基金を通じて、奨学金を受け、セカンダリースクールへ進学しています。支援生徒は、個別面談と保護者面談、家庭訪問を行い、最も厳しい状況の生徒から優先して決定をしていきます。貧しくとも親、兄姉、叔父叔母などの親族がいる生徒の場合は、保護者と連携して支援を行っていくので、100%の支援ではなく、保護者にも苦勞をして費用を捻出してもらっています。

MORO 教育基金がもたらしたもの その 1

早川さんは次のように語っています。

「はじめてから 10 年たった今、G1 から G10 までの生徒たちと共に語り合い、あらためて、これまで 10 年間の歩みがいかに大きな影響を生んできたかを実感しました。

この 10 年間この活動を行い、進学への可能性がどれほど彼らに希望を与えているか、また、そこから先の彼らの人生をどれほど変えていくか、彼らだけではなくその周辺の、家族や、弟妹、親戚、近所の人たちまで変えていく力を持つことを目の当たりにしてきました。

G1 から G6 までは、すでにセカンダリースクールを卒業し、大学生や社会人になっており、彼らが後輩に語る言葉はとても重みがあり、実感をとめない、本当に役立つアドバイスをしてくれます。まだ年若い卒業生の彼らが、キベラスラムの後輩たちを自分たちの手で支援していけるようになる

Generation 1 が高校に入学したとき



まで、まだまだ長い時間がかかりますが、私は、彼らのおかげで、これから10年先、20年先のビジョ

クールの初期の卒業生たちが30代、40代、50代になってきたときに、どう展開していくかが非常に楽しみだと思っています。

「そこまで歩みを進めていくまで、今しばらく手助けを必要としています。」

MORO 教育基金がもたらしたもの その2

MORO 教育基金に奨学金を委託すると、早川さんから奨学金を得ている OBOG 全員についての詳細なレポートがメールで送られてきます。それは、本当に愛情のこもったレポートで、いかに、早川さんやリリアンさん、ダン先生、オギラ先生が一人一人のことをよく考えているかが伝わってきます。

早川さんは「MORO 教育基金を通じて支援をしているのは、学費のみならず、一人前の人間として成長していくための学び合い、人間作りの機会です。マゴソ OBOG クラブを通じて様々な取り組みをして、夢を語り合い、共に成長していきたいと願っています。」と語っています。支援する側が別の形で支援してもらっている・・・そんな思いを持てるのが、MORO 教育基金です。

そして、セカンダリー卒業で終わるのではなく、OBOG クラブを通して卒業後もつながりが持て、彼らのさらなる成長を見届けることができます。もちろん、会いに行くこともできますよ。

ンを持てるようになりました。

私は将来的には、このマゴソ OBOG クラブが自立して、かつての自分たちのように厳しい状況にあるキベラスラムの子どもたちや後輩たちを、彼ら自身が支援することができるようになると思っています。

しかしそれにはまだ時間がかかり、彼らが仕事を心得て社会人になり、そこから彼ら自身も自分の家庭を持ち人生を作っていくながら、振り返ったときにいかに多くの人々に支えられて自分の人生があったかを理解するようになります。

私はいま50歳になりましたが、私自身も、20代や、30代のときには本当の意味ではわかっていなかったと思うのです。それを思うと、マゴソス

OBOG ミーティング



MORO 教育基金に関するお問い合わせ

MORO 教育基金会長の両角さんにメールをお願いいたします。

moro_kyoiku_kikin@yahoo.co.jp

まごそすくーるききかじり マゴソスクールについてのあれこれをちょっと紹介

マゴソスクールには、幼稚園の年少、年中、年長、プライマリースクール1年生～8年生、障がい児の特別支援学級、裁縫の職業訓練所、大工のクラス、合計14のクラスがあります。

小学校のタイムスケジュール：日本の小学校と比べてみてください。

毎朝、6時に先生たちが学校にやってきます。早い！！子どもたちも7時には登校。なんと8時の朝礼まで、自習です。朝礼後は11:00まで35分×4時間の授業。授業と授業の間に休み時間はありません。そのあと、30分の休憩。そしてさらに35分×2時間の授業をして、12:20から14:00までお昼休みです。日本の学校に比べるとずいぶん長いですね。子供たちは給食を食べたり、遊んだり。その後14:00から15:10まで、35分×2時間の授業をします。なんと1日に8時間授業です！！そのあとは、掃除やお祈りをしたり、スラムの中にあるグラウンドでスポーツをしたり、音楽チームは練習をしたりして、16:00終了。



文房具をもらって

2017年春のマゴソファミリーツアー マゴソスクールの歌って踊れる校長先生&教頭先生が来日！！

初来日！！

ダン・オチエン・オドゥオール(Daniel Ochieng Oduor)=ダン校長先生。

1978年生まれ。キベラスラム在住。6人兄弟姉妹の2番目。

18歳のとき、警察官だった父親が死亡。何とか高校を卒業したものの、学費が無くて進学できずキベラスラムへ出稼ぎに。一年後に母親も死亡。

キベラスラムでエイズ孤児の子どもたちのホームでボランティアをはじめ、その後、その学校の教員になる。

2006年にマゴソスクールに出会い、教員として働きながら定時制の大学へ進学。

2009年にマゴソスクール校長に就任。

孤児の子どもたち・未亡人・高齢者を助けたいという情熱を持って活動している。

マゴソスクールの子どもたちにとってお父さん的な頼れる存在。

「すべては実現可能！そのために必要なのは、努力、チームワーク、そして集中力！」(by ダン先生)



ヘゼカヤ・オギラ (Hezekiah Ogira)=オギラ教頭先生。

1986年生まれ。キベラスラム在住。5人兄弟姉妹の次男。

8歳のときにキベラスラムで母親が死亡。そのとき末の弟(スティーブ)は6ヶ月だった。学校に行きたいという夢をあきらめず、弟を背負って物乞いをしながら近所の子どもたちにノートを借りて勉強を続けた。

キベラの教会で出会ったリリアンの協力により奨学金を得て、2000年、セカンドグリースクールに入学。高校に通いながらマゴソスクールでボランティアをはじめ。

2004年、高校を卒業し、マゴソスクールの正式な教師となる。

2008年、マゴソスクールの教頭に就任。現在に至る。

マゴソスクールでは音楽部の顧問を務め、歌や踊り、タイコなどを指導して子どもたちを盛り上げ、マゴソスクールの音楽チームを毎年、ケニア全国小学生の音楽大会での入賞に導いている。

「日本の皆さんとのつながり。友達として始まった。そして今ではみんな大きな家族！」

(by オギラ先生)



春のスタディーツアーに参加した会員の方が、ダン先生・オギラ先生からメッセージを預かってきてくださいました。オギラ先生は骨折で入院中だったので一言だけとなりました。

ダン先生

日本に行くことができ、とても幸せです。

友達に会い、文化や食を学び、日本独特の天気を見たいです。東日本大震災の被害を受けた地域や日本の貧困街を訪問したり、原爆が落とされた広島・長崎や大都會の東京に行くことも楽しみにしています。また、日本の技術、教育制度、家族、おもてなし、政治体制を知りたいです。そして、マゴソスクールを支える会の皆さまに会えることを何より心待ちにしています。来日の5月まで、日本語の勉強を頑張ります！

オギラ先生

マゴソに関わってくださる日本のマゴソファミリーの皆さんに再会できることをとても楽しみにしています。

2016年10月から2017年3月、毎週土曜日2時間、計48時間、オギラ先生・リリアンさん・ダン先生は日本語を習いました。この日、ダン先生はお仕事中。

習い始めたときのオギラ先生のコメント

Nihon go omishiroi



2016 年 会 計 報 告

【日本側の収支報告】

(単位:円)

自 2015 年 12 月 1 日 至 2016 年 12 月 31 日

収入の部			支出の部			
年 月	項 目	金 額	年 月	項 目	金 額	備 考
2016/01	1/29 までの入金額(緊急募金)	1,249,011	2016/01	ケニアへ送金	1,000,140	US\$8,279.00 Cash にて
2016/03	1/30～3/30 までの入金額(緊急募金+会費)	1,056,456	2016/03	ケニアへ送金	1,136,800	US\$10,000.00
2016/06	4/1～6/6 までの入金額(会費+寄付)	1,159,341	2016/06	ケニアへ送金	1,322,822	US\$12,206.00
2016/08	6/7～ 8/19 までの入金額(会費+寄付)	950,588	2016/08	ケニアへ送金	950,000	US\$9,232.00 Cash にて
2016/11	8/23～11/23 までの入金額(会費+寄付)	1,967,269	2016/11	ケニアへ送金	1,965,288	US\$17,326.00
2016/12	11/24～12/31 までの入金額(会費+寄付)	499,434	2016/12	ケニアへ送金	466,825	US\$3,933.00
				銀行手数料	10,108	
				小 計	6,851,983	
				次年度繰越	30,116	
	合 計	6,882,099		合 計	6,882,099	

【日本側収入の内訳】

(単位:円)

	項 目	金 額
収入	給食募金	584,348
	音楽大会募金	470,990
	緊急カンパ	1,499,503
	一般寄付	1,160,093
	会費	3,167,165
	総収入	6,882,099

ご不明な点がございましたら、
事務局までお問い合わせください。



【ケニア側の収支報告】

(単位:ksh)

自 2016 年 4 月 1 日 至 2016 年 12 月 31 日

収入の部			支出の部		
年 度	項 目	金 額	項 目	金 額	備 考
2016/02	US\$8,279.00 Cash で受取	839,077	マゴソ職員給料	2,122,000	
2016/04	支える会から送金 US\$10,000.00	1,003,995	マゴソ給食費	870,890	
2016/07	支える会から送金 US\$12,206.00	1,232,806	マゴソファミリー生活費	442,280	
2016/09	US\$9,232.00 Cash で受取	930,586	ジュンバラワト経費	906,400	
2016/09	ドル募金 US\$1,000.00 ルワンダ	100,800	音楽大会経費	433,750	
2016/12	ドル募金 US\$1,000.00 ルワンダ	100,500	その他の経費	301,754	
2016/12	支える会から送金 US\$17,326.00	1,752,379	銀行手数料	4,400	
			小 計	5,081,474	
			次年度繰越	878,669	
	合 計	5,960,143	合 計	5,960,143	

2017年春のマゴソファミリーツアー

(早川千晶・ダン校長先生、オギラ教頭先生・大西匡哉)

お近くでイベントがあればぜひご参加ください!!新しいマゴソグッズもたくさんご用意しています。

4月1日現在の予定表です。最新の予定や詳細は会のホームページでご確認ください。

<http://magoso.jp/event/2017spring>

5月

12日(金)	長崎市	22日(月)	大阪市
13日(土)	北九州市八幡西区	23日(火)	神戸市
14日(日)	福岡県豊前市	24日(水)	大阪府池田市
15日(月)	宮崎市	26日(金)	大阪市西成区
16日(火)	大分県速見郡日出町	27日(土)	大阪市浪速区
18日(木)	山口県宇部市	28日(日)	奈良県吉野郡大淀町
19日(金)	広島市	29日(月)	名古屋市★
20日(土)	岡山県		
21日(日)	大阪府吹田市		



マゴソスクールを支える会主催です。ぜひご参加ください。

6月

1日(木)	福島県	15日(木)	岐阜県中津川市加子母
2日(金)	福島県会津若松市	17日(土)	静岡県富士市
3日(土)	仙台市	18日(日)	静岡市清水区
4日(日)	仙台市	19日(月)	長野市
5日(月)	仙台市	20日(火)	長野県上田市
7日(水)	愛知県大府市	21日(水)	東京都
9日(金)	滋賀県野洲市	23日(金)	栃木県佐野市
11日(日)	静岡県浜松市	24日(土)	東京都八王子市
13日(火)	奈良県大和郡山市	25日(日)	埼玉県熊谷市
14日(水)	岐阜県大垣市上石津	26日(月)	埼玉県熊谷市



2017年初夏のポレポレキャラバン (早川千晶・大西匡哉)

お近くでイベントがあればぜひご参加ください!!

イベントを開催してみたい方は、マゴソスクールを支える会事務局までお知らせください。

Mail: info@magoso.jp

4月1日現在で確定している予定です。

まだまだ、予定は入りますので、最新の予定や詳細を会のホームページでご確認ください。

<http://magoso.jp/event/2017summer>



6月

27日(火)	埼玉県上尾市
28日(水)	東京都千代田区

8日(土)の名古屋市は、ポレポレ旅 talk vol3です。あんな旅・こんな旅・それぞれの旅。世界を駆ける旅人、冒険家、活動家が大集合!

7月

1日(土)	愛知県知多郡武豊町	9日(日)	愛知県豊明市	17日(月)	福島市または郡山市
2日(日)	三重県三重郡菟野町	12日(水)	愛知県大府市	22日(土)	名古屋市
6日(木)	徳島県鳴門市	15日(土)	山形県酒田市	23日(日)	大阪府池田市
8日(土)	名古屋市★	16日(日)	山形市	24日(月)	大阪市

2017年秋のポレポレキャラバン&ジャクソンツアー

9月15日、札幌から始まり、9月は北海道を回ります。10月は、九州、四国、中部、関西、関東と回る予定です。また、会報やホームページでお知らせしていきます。イベントを開催してみたい方は、マゴソスクールを支える会事務局までお知らせください。Mail: info@magoso.jp

